

単元構想シート

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

生き物がすみやすい場所とは、どんなところだろう。

② 単元を貫く問い（単元を通して考えを深めていく「問い」）

生き物は、どのようにして飼えばいいのだろう。

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・校庭のどこにどんな生き物がすんでいるのだろう。
- ・生き物がすんでいる周りには何があるだろう。
- ・生き物は、どんなものを食べるのだろう。
- ・生き物を飼うには、どんなすみかを作ればいいのか。
- ・生き物を飼うには、どのようなことをしないとイケないだろう。
- ・生き物は、どのように成長するのだろう。
- ・生き物を飼うために大切なことは何だろう。
- ・誰に、どんな方法で、どのようなことを伝えたらいいだろう。
- ・飼っていた生き物をこれからどうしたらいいだろう。

単元計画の構想

「生きものについてしらべよう」

- ① 生き物について話し合おう。
- ② ③校庭にはどんな生き物がいるのか調べよう。
- ④ 見つけた生き物の飼い方を調べよう。
- ⑤ 生き物の世話をしよう。
- ⑥ 生き物の世話をし、気が付いたことを伝えよう。
- ⑦ 生き物の世話を続けよう。
- ⑧ ⑨生き物のことを伝えるための準備をしよう。
- ⑩ 生き物のことを伝えよう

第2学年 生活科学習指導案

指導者 濱本 ゆかり

- 1 日 時 令和5年7月5日(水) 第5校時
- 2 学年・学級 第2学年1組(男子10名 女子10名) 計20名
- 3 単元名 生きものなかよし大作せん
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領 生活の内容(7)「動植物の飼育・栽培」に基づいて設定したものである。児童がこれまで学習した生活科「春だ今日から2年生」「ぐんぐんそだてわたしの野さい」と関わらせることで、学校内や校区内の自分の生活する場所の魅力を再発見できる単元である。学校内や校区内で見つけた生き物について友達と話し合うことで、ふだん何気なく目にしていた生き物を学習対象として意識し、生き物のことをもっと知りたいと、意欲をもつことができる。また、生き物を継続的に飼育し、繰り返し関わることで、その生き物の特徴に気付いたり、生命があることを実感したりすることができる。さらに、調べたことや気付いたことを伝える学習を通して、児童の気付きがより質の高いものになり、気付きを伝え合うことによってさらに互いの気付きの質が高まると考え、本単元を設定した。

(2) 児童観

生き物についてのアンケート調査の結果、「生き物が好き」と答えた児童は20人中18人で、生き物が好きな児童が多いということが分かった。また、家で犬や猫、メダカ、カブトムシ等の生き物を飼った経験があるという児童は10人で、捕まえた生き物を死なせてしまったという経験がある児童は5人いた。

振り返りに関しては、多くの児童が学習内容を確認する振り返りに留まり、学習内容を現在や過去の学習内容と関連付けて振り返れる児童は少ない。

また、発表に関しては、ふだんの授業では、何人かの児童が発表者となり、残りの児童は聞き手に回っているという実態がある。自分たちで調べたことをまとめて発表するという経験については、生活科「春だ今日から2年生」で、特別教室について自分たちが知っていることをまとめて1年生に動画で伝えるという活動を行っている。

(3) 指導観

指導にあたっては、全体の学習計画を作り、見通しをもって活動に取り組めるようにしたい。

単元の初めには、生き物について話し合い、調べてみようという意欲をもたせる。そして、十分に対象と関わり、それを言語化していくことを繰り返すことで、気付きの質を高めていきたい。

また、自分たちの知識や「きっと~だと思ふ」という勝手な想像だけで世話をするのではなく、生き物には命があることに気付かせることで、正しい知識を得て飼育する環境を整えることが大切だと気付かせたい。正しい知識を得る方法について、図書室の図鑑や、タブレットで調べたり、詳しく知っている人から教えてもらったりするなど、情報を得る方法に広がりをもたせる。

さらに、飼育の途中で分かったことや気付いたことをまとめ、保護者に伝える活動を行う。これまでの飼育について振り返ったり、継続して飼育したりする意欲につながると考えられる。

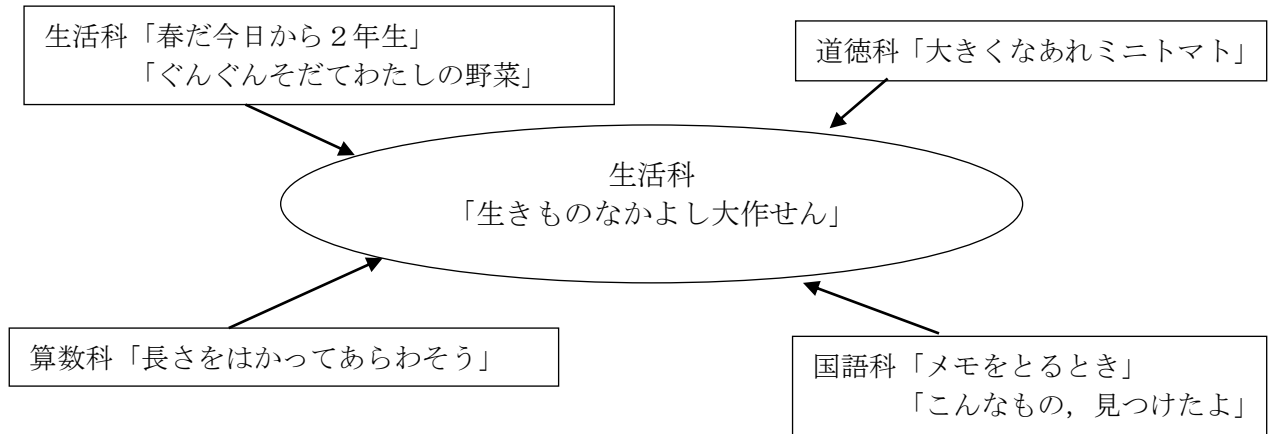
最後に、継続して飼育して分かったことをまとめて発表する活動を行い、生き物の飼育を通して学んだことをこれからの自分の生き方に生かそうと振り返られるようにしたい。

振り返りが苦手な児童には、これまで学習した成果物等を見返して、振り返りができるようにさせる。また、ワークシートに記入したことを発表することによって、全員が自分の考えを表現できるようにしたい。

5 単元の目標

生き物を探したり、飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、生き物への親しみをもって、生き物を大切にしようとするすることができる。

6 単元の構成



7 指導計画 (10時間)

小単元名 (時間)	学習活動	他教科との関連	評価方法
1. 生きもののことを話そう (1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題の設定</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物を飼った経験について話し合う。 ・ 生活の中で見付けた生き物の種類や場所について話し合う。 ・ 前単元の学習を想起しながら、どんなところに生き物がいるのかを話し合う。 		発言
2. 生きものをさがそう (3)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校庭を探検し、どこにどんな生き物がいるのかを調べる。 ・ 見付けた生き物の飼い方を調べる。 		発言, 行動観察 発言, 行動観察
3. 生きものをそだてよう (3)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物の世話をし、これからの世話の仕方についてグループで話し合う。 ・ 生き物の世話をしてきた中で、分かったことを保護者に伝える。 ・ 生き物の世話をし、これからの世話の仕方についてグループで話し合う。 	国語科「メモをとるとき」「こんなもの、見つけたよ」 道徳科「大きくなあれミニトマト」 算数科「長さをはかってあらわそう」 生活科「ぐんぐんそだてわたしの野菜」	発言, 行動観察, ワークシート 発言, 行動観察, ワークシート 発言, 行動観察, ワークシート
4. 生きもののことをつたえ合おう (3) 【本時3/3】	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ・表現</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">振り返り</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表方法や発表内容をグループで話し合う。 ・ 発表することをまとめる。 ・ 生き物についてまとめたことを伝え合う。 ・ 今後、生き物をどうするか話し合う。 	生活科「春だ今日から2年生」	発言, 行動観察 行動観察 発言, 行動観察 ワークシート

8 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
単元の評価規準		分かる・できる力	表現力	向上心	思いやり
		・生き物を探したり、飼育したりする活動を通して、生き物が成長していることや、生命をもっていることに気付いている。	・生き物を探したり、飼育したりする活動を通して、生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	・生き物を探したり、飼育したりする活動を通して、生き物を大切にしようとしている。	・生き物を探したり、飼育したりする活動を通して、生き物への親しみをもとうとしている。
評価規準	1		① これまでの経験を想起しながら、身近な生き物について友達と話している。		
	2	① 生き物の育つ場所の特徴に気付いている。	② 生き物のいる場所を予想しながら生き物を探している。		
	3	② 生き物が生命をもっていることや、成長していることに気付いている。	③ 生き物がいた場所と生育環境の関係性を探しながら、世話の仕方を決めている。		① 世話をしている生き物に親しみをもとうとしている。
	4	③ 生き物の様子に合わせて世話をすることができるようになった自分に気付いている。		① これからも生き物を大切にしようとしている。	

9 単元の評価基準

		A	B	Bに到達させるための手立て
分かる・できる力	②	生き物が生命をもっていることや、成長していることに気づき、適切な方法で生き物の世話をしている。	生き物が生命をもっていることや、成長していることに気付いている。	これまでに書いたカードを読み返したり、グループで話し合いをしたりする。
表現力	②	これまでの経験や聞いたり調べたりしたことを基に、生き物のいる場所を予想しながら生き物を探している。	生き物のいる場所を予想しながら生き物を探している。	地図を見ながら、どんなところで見つけたことがあるか一緒に考える。
向上心	①	生き物の最適な環境について考え、生き物を大切にしようとしている。	これからも生き物を大切にしようとしている。	ワークシートを見返したり、友達の考えを参考にしたりして気付けるようにする。
思いやり	①	世話をしている生き物に親しみを持ち、継続的に世話をしている。	世話をしている生き物に親しみをもとうとしている。	生き物に名前を付けたり、生き物の変化に共感したりする。

10 本時の展開（本時10/10）

（1）本時の目標

生き物を飼育して、気付いたことや分かったことをもとに、これから生き物をどうするかについて自分の考えをもつことができる。

（2）振り返りの場面と個に応じた手立て

③「学習内容を自らとつなげる振り返り」をまとめに取り入れる。

・①見つけたところに戻す②これからも飼い続ける③もう少し飼ってから考えるという選択肢を与え、なぜそれを選んだのかを考えさせる。

(3) 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の姿	指導上の留意点(・) 評価の視点(☆)
導入	1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 生きもののせわをして、気づいたことや、分かったことをつたえあって、これからどうするか考えよう。 </div> ○今日は、これまで生き物の世話を続けてきて分かったことを発表しますが、発表する時に気を付けることは何ですか。 ・みんなに伝わる声で話す。 ・ゆっくり丁寧に話す。 ・最後まで話を聞く。	・発表する時に気を付けることなどを確かめる。
展開	2 各グループごとに発表する。	○これまで生き物を飼ってきて、分かったことを発表しましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">バッタ A</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">バッタ B</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">バッタ C</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">ダンゴムシ A</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">ダンゴムシ B</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">オタマジャクシ</div>	・グループの中で前半チームと後半チームに分けて、成果物(新聞、本など)を見せながら発表させる。 ・発表し終わったら、聞いていた児童は感想を伝える。
	3 発表を聞いて、分かったことを交流する。	○他のグループの発表を聞いて、似ているところはどこですか。 ・餌が大事。 ・初めに捕まえたところと似ているすみかを作ることが大事。 ・みんな命がある。 ○これから生き物を育てるときに、どんなことに気を付けたらいいですか。 ・生き物の命を考えることが大事。 ・その生き物にあったすみかを作って、世話をしなければいけない。	
まとめ	4 世話をしてきた生き物を今後どのようにしていくか考える。	○これまで育ててきた生き物をどうしますか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> これまで育ててきた生き物を ・見付けたところに戻す。 ・これからも飼い続ける。 ・もう少し飼ってから考える。 </div>	☆これからも生き物を大切にしようとしているか。 【向①向上心】 ・ワークシートを見返したり、友達の考えを参考にしたりして気付けるようにする。

11 板書計画

④

生きもののせわをして、気づいたことや、分かったことをつたえあって、これからどうするか考えよう。

	生きもののようす	かい方
バッタ A	・だっぴした。 ・キャベツをよくたべた。	・キャベツやきゅうりのはしっこをおく。 ・水もおく。
バッタ B	・だっぴした。 ・びよんびよんはねる。	・土を入れて草をおく。 ・草は、アルミにつつまむ。
バッタ C	・だっぴした。 ・大きくなった。	・土を入れて、草をたくさん入れる。 ・ペットボトルのふたに水を入れておく。
ダンゴ虫 A	・だっぴした。	・かれはを入れる。
ダンゴ虫 B	・赤ちゃんが生まれた。 ・土の中にもぐっていた。	・土、たべもの、草がある。 ・かくれやすいばしょをつくる。
オタマジャクシ	・少し大きくなった。	・水どう水はつかってはいけない。 ・えさはメダカのえさ

同じところ

- ・えさがだいじ。
- ・つかまえたところにたすみかをつくる。
- ・いのちがある。

⑤

ぼく（わたし）は、これから生きものを します。
わけは、 だからです。